

きほく

広報

2023. 8

【No.224】



～自然豊かな 心豊かな
暮らし豊かなまち きほく～

きほくのまち人探訪
古谷龍夫さん

鬼北町議会 6月定例会

ほくほく鬼北家族の絆
渡邊大樹さんご家族

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
7/30	7/31	1	2	3 犬	4 P 近永・泉	5
6	7	8	9	10 犬 P 日吉	11 山の日 四万十・源流広見川 川上り駅伝大会 P 好藤・愛治・三島	12 古 近永
13	14	15	16 英	17 犬	18 人 P 近永・泉	19
20	21	22	23 英	24 犬 P 日吉	25 P 好藤・愛治・三島	26 古 好藤・愛治
27	28	29	30	31 犬	9/1	9/2

休日当番医

日	医院名・電話番号
6	鈴木整形外科・外科 ☎52-0104 わたなべハートクリニック ☎25-1717 市立宇和島病院小児科 ☎25-1111
11	溜尾整形外科 ☎52-3133 吉田内科泌尿器科医院 ☎25-1330 市立宇和島病院小児科 ☎25-1111
13	口羽外科胃腸科医院 ☎32-5000 町立北宇和病院 ☎45-3400 上田小児科 ☎25-0100
20	篠原医院 ☎45-3370 沖内科クリニック ☎25-3335 桑折小児科 ☎24-5633
27	いしむら整形外科 ☎20-6635 市立吉田病院 ☎52-0611 市立宇和島病院小児科 ☎25-1111

健康診査・がん検診等

日	場所	受付時間	内容
20	広見保健センター	9:00 ~ 11:00 13:00 ~ 14:30	乳マンモ検診
		9:00 ~ 11:00 13:00 ~ 14:30	子宮体がん検診 子宮頸がん検診 乳腺エコー検診
22	川口集会所	8:30 ~ 10:00	健康診査・肺CR・ 胃・大腸・前立腺・ 肝炎
23	大村集会所	8:30 ~ 10:00	健康診査・肺CR・ 胃・大腸・前立腺・ 肝炎



今月の表紙

7月4日に、きほくの里保育園でプール開きがありました。新しくなったプールに大はしゃぎ。先生とのお約束を守りながら、プール遊びを楽しんでいました。

人口と世帯数 6月30日現在

人口 9,387人 (-22)
 男性 4,405人 (-10)
 女性 4,982人 (-12)
 世帯数 4,839世帯 (-5)

※()は前月比です。

CONTENTS_ 目次

- 002 | ぐらしのカレンダー
- 003 | 地域福祉について
- 004 | 鬼北町議会6月定例会
- 010 | 第18回宇和島市・北宇和郡中学校総合体育大会
- 011 | まちのお知らせ
- 014 | まちのアルバム
- 016 | Information
- 018 | コラムの広場
- 020 | 健康ほくほく通信・戸籍の窓
- 021 | Happy Birthday
- 022 | ほくほく鬼北家族の絆
健康づくり応援レシピ

つながりと支え合い 笑顔あふれるまち きほく

「社会を明るくする運動」に参加しよう!

● 更生保護についてもっと知りたい方は

法務省 更生保護

検索

● お問い合わせはお近くの保護観察所まで

保護観察所

検索

● 更生保護ボランティアについては

更生保護ネットワーク

検索

法務省保護局
公式Twitter
アカウント法務省
公式YouTube
チャンネル法務省保護局
公式Instagram
アカウント

更生保護マスコットキャラクター (左から) ホゴちゃん、保護司のクジラ先生、サラちゃん

広報きほく7月号でご紹介した、鬼北町地域福祉計画には「再犯防止推進計画」を含んでいます。全国的には、検挙人員に占める再犯者の比率が約50%に及ぶなど、安心して暮らせる地域社会の実現が課題となっています。犯罪の繰り返しを防ぐためには、犯罪や非行をした人の抱える「生きづらさ」を解消して、地域社会での「息の長い」支援が必要と考えています。犯罪や非行をなくすためには、どうすればよいのでしょうか。取り締まりを強化して、罪を犯した人を処罰することも必要なことです。しかし、立ち直ろうと決意した人を社会で受け入れていくことや、犯罪や非行をする人を生み出さない家庭や地域づくりをすることもまた、とても大切なことです。そんなサポートや地域づくりに尽力され、立ち直りを支える「保護司」という民間ボランティアが各地区にいらっしゃることをご存じですか? 現在、町内には10名の保護司が活動をされており、アドバイスと再犯防止のための指導をする「保護観察」、社会復帰のサポートとして住居や就職先など生活環境を整える「生活環境調整」、犯罪・非行防止のために地域の理解を深める「犯罪予防活動」に努められています。

最近では、社会を明るくする運動強化月間にあわせ、町内の小中学校で「ミニ集会」という出張講座をされており、子どもたちの生きる力と強い心の育成にも意欲的に取り組まれています。

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の力

主唱 / 法務省

一人になるのが嫌だった。
孤立するのが怖かった。
誰かといないと、不安に押しつぶされそう。

仲間たちに誘われた時、断れなかった。
自分にとっては唯一で、大切なものだったから、
歪な繋がりにすがりついた。

この街に帰ってきて一年。
色んな人に囲まれて、いま、自分は働いている。

元気がないと気づいてくれる食堂のおばちゃん。
失敗を笑い飛ばしてくれる先輩。
仕事の楽しさも厳しさも教えてくれる社長。
自分が罪を犯しても、見捨てなかった幼馴染。

たくさんの顔が思い浮かぶ。
それにすごく、嬉しくなった。

一人でなんでもできるようになることだけが
自立じゃない。
困ったら、誰かを頼ったっていい。

きちんと一人、でも孤独じゃない。

#生きづらさを
生きていく。

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
第73回 社会を明るくする運動

7月は「社会を明るくする運動」強調月間・
再犯防止啓発月間です。

社情

しゃめい

Q 検索



鬼北町議会 6月定例会

第2回鬼北町議会定例会は6月15日に開催されました。会では議案5件、同意14件が提案され、議案全件が原案のとおり可決されました。

議案

●工事請負契約（映像系光送出設備更新工事）の締結について

●工事請負契約（5）防安全 町道弓滝線弓滝橋歩道橋上部工事（その1）の締結について

●工事請負契約（鬼北町書庫整備工事）の締結について

●令和5年度鬼北町一般会計補正予算（第3号）について

●令和5年度鬼北町国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）について

同意

●鬼北町農業委員会委員の任命について

◆兵頭 稔 議員

【水道事業について】

●「地域別の経過年数、取り換え時期、それぞれに係る経費について伺う。」

●答・近永浄水場施設は、昭和48年度に整備し、49年経過。

●近永地区送配水施設は、昭和51年度に整備し、46年経過。

●下鍵山地区配水施設は、昭和53年度に整備し、44年経過。

●下鍵山導水施設等は、昭和57年度と昭和58年度に整備し、完了後39年経過。

●近永地区2号水源・新広見浄水場・広見配水池等施設は、昭和55年度から

昭和57年度に整備し、完了後40年経過。
●西野々地区導水管・送配水管・浄水場等施設は、昭和52年度に整備し、45年経過。

●生田地区導水管・送配水管・浄水場等は、昭和56年度に整備し、41年経過。

●愛治地区（大宿・清水）導水管・送配水管・浄水場等は、昭和63年度から平成2年度に整備し、完了後32年経過。

●下鍵山簡易水道統合事業（下鍵山上鍵山の一部・上大野・日向谷の一部・父野川の一部）は、平成7年度から平成9年度に整備し、完了後25年経過。

●広見統合簡易水道施設整備事業（近永・好藤・泉・三島）は、平成6年度から平成12年度にかけて整備し、完了後22年経過。

●下大野地区導水・配水管等は、平成12年度と平成13年度に整備し、完了後21年経過。

●三島統合簡易水道整備事業は、平成15年度から平成17年度に整備し、完了後17年経過。

●愛治地区電気計装設備更新事業は、平成25年度に整備し、9年経過。

●日吉地区電気計装設備更新事業は、令和元年度と令和2年度に整備し、完了後2年経過している。

●取り換え時期は、管路については40年、浄水場施設等のコンクリート構造物につ

いては60年、電気計装設備等については20年が目安となっている。現在、施設の老朽化等を考慮し、順次更新しているが、管路・ポンプ等の更新の経費については、年間約7千万円の予算を計上して整備している。

1台の計3台であるが、マイクロバスのうち1台は、管理運行を業者に委託しており、もう1台は、町の会計年度任用職員が管理運行を行っている。また、中型バスは、老朽化のため使用を中止しており、廃車予定としている。

●西野々地区・生田地区配水管更新工事の終了予定について。

●答・西野々地区配水管布設替工事については、令和2年度から実施しており、令和5年度に完了する予定。また、生田地区配水管布設替工事については、今年度から実施し、令和9年度に完了見込み。

●問前記の工事は起債事業により行うと伺っているが、資本金を取り崩して工事に充てることはできないか。

●答・過去の資本金の使い道等の一般質問にもお答えしたように、決算書に組入資本金を計上しているが、この組入資本金は、未処分利益剰余金を、議会の議決を経て、資本金に組み入れた組入額に相当するもので、現金の裏付けがないものであるため、取り崩して工事に充てることはできない。

●問前記の工事は国庫補助事業対象になつていないか。

●答・水道事業の整備については、「水道事業実務必携」に記載されている「水道施設整備費に係る交付要綱」に、様々なメニューがあるが、給水管の分岐を伴う配水管については、水道事業者が給水収益等の収益の中で、更新等の維持管理を行うべきものとされており、国庫補助事業の対象とはならないことになっている。

●問前記の工事は起債事業により行うと伺っているが、資本金を取り崩して工事に充てることはできないか。

●答・過去の資本金の使い道等の一般質問にもお答えしたように、決算書に組入資本金を計上しているが、この組入資本金は、未処分利益剰余金を、議会の議決を経て、資本金に組み入れた組入額に相当するもので、現金の裏付けがないものであるため、取り崩して工事に充てることはできない。

●問前記の工事は国庫補助事業対象になつていないか。

●答・水道事業の整備については、「水道事業実務必携」に記載されている「水道施設整備費に係る交付要綱」に、様々なメニューがあるが、給水管の分岐を伴う配水管については、水道事業者が給水収益等の収益の中で、更新等の維持管理を行うべきものとされており、国庫補助事業の対象とはならないことになっている。

●問前記の工事は起債事業により行うと伺っているが、資本金を取り崩して工事に充てることはできないか。

●答・過去の資本金の使い道等の一般質問にもお答えしたように、決算書に組入資本金を計上しているが、この組入資本金は、未処分利益剰余金を、議会の議決を経て、資本金に組み入れた組入額に相当するもので、現金の裏付けがないものであるため、取り崩して工事に充てることはできない。

●問前記の工事は国庫補助事業対象になつていないか。

●答・水道事業の整備については、「水道事業実務必携」に記載されている「水道施設整備費に係る交付要綱」に、様々なメニューがあるが、給水管の分岐を伴う配水管については、水道事業者が給水収益等の収益の中で、更新等の維持管理を行うべきものとされており、国庫補助事業の対象とはならないことになっている。

●問前記の工事は起債事業により行うと伺っているが、資本金を取り崩して工事に充てることはできないか。

●答・過去の資本金の使い道等の一般質問にもお答えしたように、決算書に組入資本金を計上しているが、この組入資本金は、未処分利益剰余金を、議会の議決を経て、資本金に組み入れた組入額に相当するもので、現金の裏付けがないものであるため、取り崩して工事に充てることはできない。

●問前記の工事は国庫補助事業対象になつていないか。

●答・水道事業の整備については、「水道事業実務必携」に記載されている「水道施設整備費に係る交付要綱」に、様々なメニューがあるが、給水管の分岐を伴う配水管については、水道事業者が給水収益等の収益の中で、更新等の維持管理を行うべきものとされており、国庫補助事業の対象とはならないことになっている。

●問前記の工事は起債事業により行うと伺っているが、資本金を取り崩して工事に充てることはできないか。

●答・過去の資本金の使い道等の一般質問にもお答えしたように、決算書に組入資本金を計上しているが、この組入資本金は、未処分利益剰余金を、議会の議決を経て、資本金に組み入れた組入額に相当するもので、現金の裏付けがないものであるため、取り崩して工事に充てることはできない。

安全運転管理者（総務財政課長）へ報告するとともに、「鬼北町職員服務規程」により、「交通事故（違反）てん末報告書」を総務財政課へ提出することとしている。

事故の責任体制は、公用車運転中の事故になるため、町に賠償責任があり、事故の補償については、他の公用車同様、町が加入している保険での対応となる。

問ドライバーの1日最高の実ハンドル時間、走行キロ、長距離運転の場合の休憩時間について。

答「鬼北町バス運行管理規定」では、1日の実運転時間を、運転手1人につき6時間以内としている。

また、走行距離は、マイクロバスの走行距離上限を300キロとし、中型バスを350キロとしていたが、令和元年11月からは、中型バスの老朽化により、県内限定とする運行制限を設けたので、マイクロバスの走行距離の上限を350キロとして運用している。この距離数は、運転手の健康面において、国土交通省が示す基準である昼間500キロ、夜間400キロを超えない範囲で、運転手と協議し、定めた上限となっている。

また、350キロを超える場合であっても、特別な事情により、町長が許可する場合に限り、国土交通省の基準を超えない範囲で走行することも可能としている。

長距離運転の場合の休憩については、有償で運行をしている運送事業者の場合、「貨物自動車運送事業法」の規定により休憩した地点や日時を記録する義務があるが、公用車の場合は、規定がないため、行程スケジュールを確認した上で、適宜休憩をとるよう使用申請者（担当課）と調整を行っている。

なお、運転手の健康と安全のため、

厚生労働省が示している「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準」にある、運転時間4時間ごとに30分の休憩、もしくは4時間以内に30分の休憩を分割して確保するよう、改めて周知していきたいと考えている。

【日吉支所の施策概要について】

園林道日向谷節安線開通とあるが、開通予定日について。

答 園林道日向谷節安線については、日吉地区の日向谷地区と父野川上地区を接続する基幹林道として、特殊森林法人森林開発公団によって、平成6年度に着手され、その後、平成21年度から愛媛県が事業を引き継ぎ、現在、令和9年度完成予定で開設事業を進めている。

問町職員が自然体験や清流イベント等に勤務した場合の扱いについて。

答 節安ふれあいの森では、4年前までは、毎年、日吉地域の住民の方を中心に活動している「日吉一希を起こす会」が、清流と親しむイベント「せせらぎ魚つちんぐ」を開催していたが、新型コロナウイルスの影響により、3年間中止を余儀なくされ、今年度は、7月16日の日曜日に、4年ぶりに開催する予定で準備を進めている。

イベントを主催する団体に役場職員が所属し、参加している場合は、勤務としての取り扱いはないが、イベント当日に、節安ふれあいの森を担当している日吉支所の職員に、勤務を命ずる必要がある場合には、月曜日から金曜日までの勤務日に振替休日を割り振る予定にしている。

◆中山定則 議員

【地域公共交通計画について】

問運賃割引等にかかる補助事業の計画内容について。

答 運賃割引の対象とする交通機関については、町内タクシー及び町内を運行する民間路線バスを想定し、対象者については、免許を有さない高齢者等を助成対象者として、検討している。

具体的には、利用者が対象の交通機関を利用する際に、町が発行する交通系カード、または、スマートフォンアプリによるキャッシュレス決済により、割引後の運賃をお支払いいただき、割引分の運賃相当額については、今年度、開発導入を予定している管理システムにより、事業者へ補填することを想定している。

割引率や割引となる運行範囲など、制度詳細については、現在、担当課において、恒久的な助成制度として制度設計を進めているほか、システム概要や事業実施時期については、交通事業者等の意向も踏まえ、今後、関係事業者及びシステム開発事業者との調整を進める予定としている。

問バス等の公共交通乗り方イベントの内容と効果について。

答 基本計画においては、保育所等での出前講座や、高齢者が集う地域サロン等の公共交通乗り方イベントの開催に取り組みこととし、子供の頃からバス等の公共交通機関に慣れ親しむ機会として、また、高齢者の皆さんには、町が実施する運賃割引事業のご案内やキャッシュレスによる乗り方講話など、ご理解を深めていただける機会として計画したところであり、地域公共交通の利用促進効果を期待し、取り組んでいきたいと考えている。

問バス等の公共交通を利用したお出かけプラン座談会の内容と効果について。

答 公共交通機関を利用して目的地まで外出した場合の「所要時間」や「利用運賃」、「到着時間」などのプランを元

に、その利便性等について意見をお聞きするなど、座談会を計画するものであり、座談会での意見については、交通事業者と情報を共有し、運行ダイヤの見直し時期において参考とするなど、利便性の向上を目的に取り組みものである。

なお、今年度については、三島ふれあいタクシー運営協議会にご協力をお願いしたいと考えているところである。

問法定の交通会議、地域公共交通活性化協議会の会議のほか、定期的に鬼北町と交通事業者との連絡会を開催する考えはないか。

答 これからの地域公共交通の在り方や支援施策を推し進める上で、議員ご提案の連絡会開催については、町としても重要な視点と捉え、今後、交通事業者の意見も踏まえ、開催に向け、協議・検討を行っていききたいと考えている。

【鬼北町地域福祉計画について】

問広報きほくに常設の地域福祉コーナーを設けて、地域福祉に関する情報発信や周知・啓発活動を行う考えはないか。

答 本計画策定にあたり実施した「町民意識調査」の結果からも、地域福祉に関する情報提供が十分でないと感じている方が多いことを認識している。

これまでも、さまざまな媒体を活用して、情報発信を行ってきたが、必要な情報が必要な人に十分に行き届いていないと考えられることから、住民の皆さんに地域福祉の考え方を理解していただくため、支援や福祉サービスの内容をお伝えする方法の1つとして、「広報きほくに」常設コーナーを設け、福祉に関する幅広い情報を発信していきたいと考えている。

問令和4年度は、各種福祉分野におい

て福祉に関する講座や学習会をどれだけ実施したのか。また、今年度からの福祉に関する学習機会の拡充計画は出ているのか。

答 令和4年度については、福祉に関する講座や学習会として、保健介護課地域包括支援センターによる「認知症サポーター養成講座」を町内小中学校7校で実施するとともに、住民講座としては、宇和島地区権利擁護センター「ピット」のご協力により、愛治公民館・好藤公民館において、「成年後見制度などに関する学習会」を実施した。それ以外にも「認知症の理解をすすめるための講演会」を2回開催し、高齢者福祉や権利擁護の周知・啓発活動を行っている。

また、児童生徒が社会福祉を学ぶ機会として、鬼北町社会福祉協議会にご協力をいただき、町内小中学校において、「福祉体験学習」を毎年開催しており、令和4年度については、日吉小学校・三島小学校・広見中学校で実施した。

障害福祉の分野では、平成25年から毎年、宇和島圏域で実施している「宇和島圏域手話奉仕員養成講座」の入門課程と基礎課程を実施し、鬼北町からは1名の参加があった。

また、地域福祉の担い手・地域の相談役として、日々活躍いただいている民生児童委員の方々には、児童福祉から高齢者福祉まで幅広い知識の習得のために、全国・県等が主催の研修会に積極的にご参加いただいたり、鬼北町民生児童委員協議会においても、権利擁護、生活困窮者支援制度、生活保護等の学習会を開催し、地域福祉の大切な担い手として研鑽を積んでいただいている。

また、宇和島地区保護司会鬼北分区においては、毎年7月に、「社会を明るくする運動強化月間」の活動の一環とし

て、町内小中学校において「ミニ集会」を実施し、令和4年度については、好藤小学校と広見中学校で、更生保護とは何か、また命の大切さについての講演を行っている。

令和5年度については、これらの講座・学習会・講演会の開催を継続しながら、「認知症サポーター養成講座」の対象者を高校生に拡充し、県立北宇和高校で実施予定としている。また、宇和島地区権利擁護センターの講座を実施していない公民館において、成年後見制度研修会の開催を検討している。

また、地域福祉に関する学習としては、講座等の開催だけでなく、「広報さほく」の常設ページへの掲載により、地域福祉とは何か、日頃の近所とお付き合いや、声掛けの大切さなどを再認識していただくことから始めていきたいと考えている。

問 地域福祉ネットワークの構築に向けての町の取り組みが示されているが、今年度から実施していく町の体制は出ているのか。

答 住民の皆さんの多様な困りごとに対しては、それぞれの相談窓口で解決する場合もあるが、多面的に支援が必要な場合も多くあり、また、困りごとが多岐に渡り、行政の相談窓口適切に繋がらず、孤立されている場合もあることから、地域と行政が連携しやすい関係性であることや、幅広い分野の他機関協働体制が求められている。

現在、町の相談窓口においては、ご本人・ご家族からの相談だけでなく、各種事業所・団体、また民生児童委員をはじめとする地域の皆さんからの情報提供などが寄せられているが、必要に応じて、課題に対する支援のあり方を検討するケース会議やケース会議などを実施し、ま

た困難事例等については、県のさまざまな機関や社会福祉協議会などからの助言・協力を受け、他機関協働により連絡会議等を設けて、解決に向けて取り組んでいる。

本町の体制としては、日頃から保健・医療・福祉などの分野にとどまらず、教育・住まいなどの分野との協働に努めていることから、幅広い分野で支援についての検討を行う重層的支援体制の基盤はおおむね整っていると考えているが、今後は、会議や関係機関とのネットワークの中から、潜在的な相談者を見つけるといったアウトリーチ型支援に取り組みなど、一層の体制強化を図っていききたいと考えている。

◆ 芝 照雄 議員

問 町内自治会・組織の統廃合について、行政主導で出来るのか出来ないのか。

答 議員ご指摘の、自治会・自治組織の役員の手不足、あるいは自治会加入率の低下については、全国的に問題になっていると承知している。鬼北町においても、高齢化や人口減少、未加入世帯の増加などにより、短い周期で区長・組長等の役が頻繁に回ってくるといった組織があるということは承知しており、ここ数年の区長組長会においても、同様の意見を何度か伺っている。

また、地区によつては、現実問題として組織の運営が難しくなり、組の休止や統合をしたところもある。近年、再編された自治組織については、解散、活動休止、合併、吸収合併等の再編例があるが、いずれもそれぞれの組織で話し

合いを重ねて、それぞれの意思決定をされたものと認識している。

自治会というのは、地域住民が地域において自主的に運営している自治組織であるが、それぞれの組織において、成り立ちや活動の歴史、地理的状况において独自性がある。行政が主導して自治会の再編をすることは、法的に問題はないとしても、自治会において最も尊重されるべきは、地域住民の意思であり、自治会の再編については、それぞれの自治組織としての意思決定によるべきものと考えている。

しかし、再編にあたり自治会だけでは解決できない問題については、行政としても何らかの支援は必要であると考えている。今すぐに有効な解決策はないが、全国的な問題でもあるので、他の自治体の状況も情報収集し、有効な対策については、本町でも取り入れていきたいと考えている。

問 町内各小学校・保育所・公園の遊具について

答 小学校の遊具の安全点検は、学校保健安全法施行規則において、「毎学期1回以上、児童生徒等が通常使用する施設及び設備の異常の有無について系統的に行わなければならない」と規定されており、それを踏まえ、現在、町内の各小学校においては、毎月、教職員による遊具の日常点検を行っており、異常があれば、教育委員会に速やかに報告されることになっている。変形及び異常を確認した場合には、直ちに遊具の一部又は全部の使用中止の措置を講ずるとともに、必要に応じて遊具の構造や点検に関する専門的な知見、技能を有する専門技術者による点検を実施している。鬼北総合公園の遊具は、鬼北町総合

公園の管理運営について、鬼北町スポーツ協会を指定管理者として、鬼北町スポーツ協会職員が毎月3回程度の日常点検を実施している。また、鬼北総合公園は、都市公園法に規定する公園であり、都市公園施行規則において、「遊具の点検は年1回を基本とする。」と規定されており、年に一度、専門業者による点検を実施している。

また、下鍵山公園については、令和2年3月に遊具を設置したが、公園利用者の安全確保を図る観点から、国土交通省の「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」に準じて、令和4年度から年1回、専門業者による点検を実施している。

また、保育園の遊具点検の頻度については、厚生労働省通知「児童福祉施設等に設置している遊具の安全確保について」の中で、国土交通省の「都市公園における遊具の安全確保に関する指針」を活用することとなり、この指針に基づき、遊具の構造や詳細な点検に関する専門的な知見、技能を有する専門技術者による定期点検を年1回実施している。併せて、毎月1回、各保育所において職員による点検を行っている。

園行政・教育委員会としての遊具の考え方について。

子どもは、遊びを通じて自らの限界に挑戦し、身体的、精神的、社会的な面などが成長するものであり、集団の遊びの中で自分の役割を確認するなどのほか、遊びを通じて、自らの創造性や主体性を向上させてゆくものと考えられる。また、遊具については、多様な遊びの機会を提供し、子どもの遊びを促進させるものであり、子どもにとって魅力的であるばかりか、その成長に役立つものである。

小学校における遊具を含めた施設・設備の設置については、小学校設置基準の中で、「小学校には、学級数及び児童数に応じ、指導上、保健衛生上及び安全上必要な種類及び数の校具及び教具を備えなければならない。」との規定があり、それに基づき町内の小学校にも遊具を設置している。

また、保育園については、「保育所保育指針」の「保育所保育に関する基本原則」の中に、保育の環境の一つとして、施設や遊具などの物的環境を整備し、子どもの活動が豊かに展開されるよう設備や環境を整え、安全の確保などに努めることとされており、町としても、子どもが好きな遊びを選択することが自己表現の第一歩となることや、保育士が子どもの興味や関心と、心身の状態を知り、遊びを通して児童の成長を見ることが出来ることなどから、保育園に遊具は必要なものと認識している。

今年度4月に開園した「きはくの里保育園」においても、このような考え方に基づき、遊具の整備を行なったが、今後改修を予定している園においても、施設の改修等とあわせて、順次整備して行く予定としている。

園撤去後新設の考えはあるのか。

小学校の遊具を撤去した場合、学校の要望等により遊具の新設を行っている。最近では、平成27年度に行った専門技術者による遊具の点検結果を踏まえ、平成28年度に修繕不可遊具を撤去し、平成29年度から平成31年度にかけて、学校からの要望により、新規遊具の整備を行っている。今後も、必要に応じて、遊具の修繕や撤去を行い、撤去後の新規遊具については、学校と協議し検討したいと考えている。

また、鬼北総合公園の遊具については、

平成29年度に修繕不可遊具2基を撤去し、4基の遊具を新設している。また、令和3年度には修繕不可遊具2基を撤去し、それに代わる遊具2基を今年度設置する予定としている。

また、保育園については、「きはくの里保育園」と、今後、遊具も含め改修等の整備を行う予定の2か所の認定子ども園においては、当分の間は問題なく使用できると考えているが、将来的に使用禁止となった場合等については、対象遊具の規模や園児数等を考慮した上で、遊具の整備について検討していきたいと考えている。

◆末廣 啓 議員

「有形文化財の保護について」

答井谷家住宅は、私財を投じて、まづくりや南予交通路開発、教育に尽力し、日吉村の近代化に大きく貢献した日吉村初代村長 井谷正命氏が、明治26年に建てた住宅で、「明星ヶ丘」で四国初のメーデーを行い、労働者運動などの社会運動を進め、戦後に衆議院議員を務めた子息の井谷正吉氏が余生を過ごした住宅として知られている。

この住宅は、正命氏の建築思想を反映した、農家住宅でも、庄屋住宅でもない、近代建築の萌芽的建物として建築学的にも高く評価され、平成24年、国登録有形文化財に認定され、平成29年に町の公有財産として取得している。

井谷家住宅の現状としては、主屋蔵・石垣及び土塀・南面石垣について、経年による劣化や腐朽が目立ち、早急な保存改修の手立てを講じる必要があるとの診断が出され、主屋については、屋根の老朽化による雨漏りが確認されたことから、令和2年6月に「屋根シート被覆雨漏り応急対策工事」を実施した。

3年が経過した現在、シート被覆していない新たな箇所から雨漏りが発生しており、応急対策について、建築士から意見を伺うこととしている。

蔵・石垣及び土塀・南面石垣なども保存修理を要するとの診断であるが、建物の基盤地下の湧水も確認されており、建物の保存改修を進める上では、外構を含めて全体的な修理が必要となる。

また、保存改修後の維持管理や活用についても検討が必要であり、平成30年度、「井谷家住宅保存活用検討委員会」を発足し、井谷家住宅の保存・活用計画の策定を進めており、今年度、保存活用計画の認定と合わせて、文化庁とも協議を行うべく予定としている。

活用法については、委員会を主体に住民アンケートの実施やシンポジウムの開催などを行っており、学校教育や生涯学習の場としての利用、地域住民の憩いの場所、宿泊施設、観光拠点としての利用などが提案されている。

なお、保存改修工事については、国の許可が必要となるが、工事費用が高額となる見込みで、国庫補助等の補助事業もないことから、クラウドファンディングを含め、財源の確保について検討している。

保存改修、改修後の維持管理や活用方法を含め、保存活用検討委員会や建築士、文化庁のアドバイザーを受けながら、できるだけ早く改修したいと考えている。

「ねんりんピックの開催について」

「関係者等の宿泊先はどのよう

に考えているか。

答宿泊先の選定・配宿及び輸送については、「ねんりんピック愛媛のえひめ2023実行委員会」の宿泊等基本方

針に基づき、愛媛県の実行委員会事務局で事業を進めており、現在、仮配宿計画が作成されている。鬼北町開催種目のベタシク競技の宿泊施設は、町内にある成川溪谷休養センターのほか、大洲市にある4施設及び高知県四万十市の4施設が候補として選定されている。

なお、交流大会期間中の指定宿泊施設における選手・監督のバスへの案内誘導、乗車管理等については、「ねんりんピック愛媛のえひめ2023鬼北町実行委員会事務局」で対応することになっている。

鬼北町をPRする手段を、どのように考えているか。

答 本年4月25日に開催した、「ねんりんピック愛媛のえひめ2023鬼北町実行委員会」第2回総会で、令和5年度事業計画、収支予算及び実施計画等が承認されたことにより、当町の「ねんりんピック推進室」においては、今後、運営委員会及び競技委員会を随時開催し、大会の成功に向けて、事業を推進していきたいと考えている。

昨年11月6日に実施したリハーサル大会では、会場内に特設テントを配置し、「おもてなしコーナー」として、鬼北町産のきじ肉を使用したきじ汁と、無料ドリンクとして鬼北町特産のゆずを使用したジュースを提供するとともに、町内にある2箇所道の駅による特産品販売も、併せて行った結果を踏まえ、昨年以上の鬼北町のPRができればと、特産品の販売や、観光案内としてパンフレットの配布を行うほか、現在、愛媛県の実行委員会とも協議しながら、詳細について検討を行っている。

道の駅等、主だったところの環境美化はどのように考えているか。

答 町内2箇所の道の駅と大会会場となる鬼北総合公園に、ねんりんピック開催

の横断幕掲揚をお願いしているほか、それぞれの道の駅では、毎月1回の啓発活動として、ポケットティッシュ等の配布やオリジナル缶バッジの制作・配布も実施している。併せて、季節の花のプランターを設置して、ねんりんピック開催に向けた歓迎装飾も行っている。本大会においても、会場地周辺に、季節の花のプランターや歓迎のぼり旗を設置する計画であり、準備を進めている。

今後関係機関との連携を密にし、円滑な大会運営ができるよう万全を期して参りたいと考えている。

◆松浦 司 議員

「鬼のまちづくりプロジェクト」『鬼のまち』をPRするのにどのような取り組みをされたのか。

答 これまで「鬼のまちづくり事業」については、全国の自治体の中で、唯一「鬼」の文字が町名に入っていることを活かし、いかに町の活性化につなげていくかを基本とする中、鬼北町の認知度向上を目的に、PR活動に取り組んできた。

これまで、鬼の造形大賞やフォトコンテスト、ウォールアート事業など、各種コンテンツ企画によるPR活動をはじめ、「鬼のお太鼓コンテスト」や「愛ある鬼嫁コンテスト」などのイベントの開催、県内外のイベントでは、鬼王丸スーツによる町のPRや町物産の販売、ノベルティーの配布など、愛媛県 鬼北町の知名度アップに努めてきたほか、SNSや新聞、雑誌、テレビ等の様々なメディア、空港サインの活用や町営バス、JR予土線外に幅広く情報発信を行い、「鬼のまち 鬼北町」のPR活動に取り組んできた。

鬼北町」のPR活動に取り組んできた。

答 様々なPR活動については、「たくさんの方に鬼北町を知ってもらおう。」、そのことをまずは一番の目的として取り組んでいるので、「各PR事業によってどれくらいの方に知っていただき、一人当たりに対する経費はどれくらいであったか。」、いわゆる各PR事業において、どれだけの方が鬼北町を認知いただいたかを数値で把握し、検証することは難しいと考えている。

しかし、例えば、ふるさと納税で見した場合、鬼のまちづくり事業への取り組み前は、納税件数が約100件、寄付額が約390万円であったが、2体のモニタメント設置後は、納税件数が約1,200件で寄付額が約2,400万円、令和4年度には、納税件数が約3,000件、7,300万円にまで大幅にアップしたほか、町を訪れる年間入込客数についても、取り組み前に比べ、1.5倍にまで増加している。

これら増加の要因については、ふるさと納税返礼品における町産品の魅力、また、町内誘客施設自体の魅力によることはもちろんであるが、ひとつには、鬼北町に多くの方が足を運んでいただけるようになったこと、道の駅や事業者の皆さんが、鬼関連商品の開発や販売のふるさと納税の返礼品としても提供いただくようになったこと、なによりPR活動により「鬼のまち・鬼北町」を知っていただいたことで、「行ってみよう。」「買ってみよう。」「食べてみよう。」などの行動に繋がったものと捉えているところであり、PR活動が町産品や交流人口の拡大に効果があったものと実感している。

鬼の造形大賞」の募集により、全国から多くの造形が集まっているが、現在どのような活用をされているのか。

答 「鬼の造形大賞」については、これまでに計8回、500を超える作品を出品いただけており、その作品については、作品名や作者、作者のコメントなど、「鬼の造形大賞」公式Instagramで紹介し、鬼の造形大賞のPRに活用させていただいている。

出品の際には、日吉歴史民俗資料館において、約8ヶ月間ほど作品を展示し、展示終了後は、痛みや色落ち等の無いよう保管に努めることとしているが、作品の一部については、役場庁舎内や道の駅、南予森林組合のほか、フジ広見店や東温市のフジグラン重信においても、展示をいただいている。

SNSを活用し、全国に広く発信することで、鬼の造形大賞のほか、鬼北町の認知度も向上していると考えているが、今後、観光づくり事業を推進する上で、保管作品の活用の方についても、引き続き、検討していきたいと考えている。

人口減少対策について

答 今後進んでいくことが予想される人口減少により、小学校の児童数の減少も避けることができない状況となっている。

その中で、学校教育においては、町の未来を担う子どもたちが、自分の生まれ育った「鬼北の里」をよなく愛し、誇りと自信を深めながら伸び伸びと育つ、豊かな自然と人とが響きあう町づくりを「教育の基本理念」としている。

学校・家庭・地域が連携・協働して、子どもたちを育てる充実した教育環境づくりのため、全ての学校に設置した学校運営協議会の充実を図り、「地域とともにある学校づくり」を推進し、学校規模や地域よさを活かした望ましい集団活動や様々な交流活動、体験活動

等の協働的な学びの充実を通して、自己有用感を高め、ふるさとを愛する心を育てることを目標としている。

また、少人数のメリットを活かして、児童生徒一人一人の個性を見極め、最適な学びの環境を提供し、心身の健全な成長を保障できるよう努めている。学校規模以上の集団活動として、学校同士の交流学习を積極的に行い、また、コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の仕組みなどを活かして、地域とともにある開かれた学校づくりを目指している。

地域の自然や歴史、文化、人等の地域資源を活用した体験学習等を通じて、ふるさとの良さを実感できる教育を推進し、「ふるさとを愛し、ふるさとを誇る」子どもたちを育てることで、将来、鬼北町で活躍する、鬼北町を担う人材になつていただくことを期待している。

施設の活用対策としては、屋内運動場やグラウンドについては、学校教育諸活動に支障がない場合、生涯学習を目的とする活動に対して、積極的に開放している。また、災害時には、多くの町民を受け入れる避難所となる重要な施設でもある。

今後とも、地区の運動会や納涼大会、スポーツ大会等の地域コミュニティ活動の拠点として、また、町民の皆さんが気軽にスポーツを楽しむ場として、積極的に開放していきたいと考えている。

④人口減少に伴う空き家増加対策について。

答町では空き家情報を発信する「空き家バンクシステム」を活用し、町内に居住を希望する方への空き家紹介やマッチングを図るなど、空き家の解消に努めている。

昨年度末時点における「空き家バンク」

への登録件数は延べ54件となり、うち、売買契約に至った空き家物件は延べ16件、また、賃貸契約となった空き家物件は延べ17件となっている。また、空き家の利用を希望する相談件数は、令和4年度において、38件にものぼり、今後も引き続き、空き家の解消、有効活用を努めていきたいと考えている。

その一方で、老朽化により倒壊の危険性がある空き家については、補助対象費用の10分の8以内で、上限80万円を除却費用として補助しており、平成29年度の事業開始から令和4年度までの6年間で53件を除却している。今後、空き家が増加することが予想され、災害発生時の防災の観点からも、事業を推進していきたいと考えている。

⑤人口流失に伴う若者定住対策について。

答若者の県外流出、流失に伴う婚姻数や出生率の低下などにより、県内の人口減少が深刻化する中、令和3年度における愛媛県への移住者数は過去最高を記録したほか、令和4年度の移住者数については、更に上回る見込みと聞いており、鬼北町においても、若者を含めた移住者、Uターン・Iターンを促進するための定住施策に取り組んでいる。

空き家を活用した移住定住支援事業については、子育て世帯の定住人口の増加を図るため、昨年度、子育て世帯における「空き家改修等補助事業」の補助上限額を拡充、また、「特定地域子育て世帯空き家リフォーム補助事業」を創設したほか、今年度は新たに、賃貸共同住宅の整備にかかる事業費の一部を補助する「民間賃貸共同住宅整備補助事業」、子育て世帯が特定地域に居住する場合に活用できる「保育所遠距離通園支援事業」や「子育て世帯特定地

域居住支援事業」の創設など、流出人口の抑制や定住人口の維持・拡大を図るため、更なる移住定住対策に努めている。

⑥地域（日吉・三島・小倉・愛治）の医療対策について。

答令和3年3月末の三島診療所医師の退職により、現在、常勤医師1名とへき地医療拠点病院派遣医師2名体制で3カ所の診療所の運営を行っている。その間、愛媛県ドクターバンクセンター等を活用して、非常勤医師1名の求人募集を行い、医師確保に努めているが、医師を取り巻く環境は大変厳しい時代であり、なかなか採用には至っていないのが実情である。

このような状況の中で、小倉診療所については、令和3年4月1日から休診としているが、対応策の一環として、愛治診療所を受診される方で、来院の交通手段がない方については、診療所間の送迎を実施している。また、その他の診療所においては、日吉診療所週4日、三島診療所週3日、愛治診療所週2日の診療日を確保し、対応している。

診療所のある日吉・三島・愛治地区の人口減少は、町内でも特に著しく、平成17年の合併当時4,736人あった人口が、今年4月には2,911人となり、比較すると1,825人減少し、4割近くが減少したことになる。今後、ますます地域の人口減少が続くことが予想されるが、診療所は、地域医療機関として必要なことは、言うまでもなく、町立北宇和病院との協力支援体制をより強固なものにしながら、可能な限り現在の医療提供体制を維持・存続していく考えに変わりはない。

⑦防災対策について。

答人口減少と高齢化の波は、地域の防災対策の面においても、消防団員の減少

や地域の防災対策を担っていただく人材の不足など、様々な影響を及ぼしている。

災害の発生を完全に防ぐことは困難であることから、町としては、効果的な防災・減災対策を講じるとともに、住民一人ひとりの自覚及び努力を促すことによつて、その被害を最小化する「減災」の考え方が、防災の基本であると考えている。たとえ被災したとしても、人命が失われないことを最重視し、経済的被害が少なくなるよう、また、被害の迅速な回復を図れるよう様々な対策を組み合わせて災害に備え、災害時の社会経済への影響を最小限にとどめることが必要であると認識している。

また、防災対策は、住民が自らの安全は自らを守る「自助」を実践した上で、地域において互いに助け合う「共助」に努めるとともに、町及び県がこれらを補完する「公助」を行うことを基本とし、住民、自主防災組織等連絡協議会、防災士連絡協議会、事業者等と相互に連携を図りながら、鬼北町防災訓練の実施や防災・減災対策に取り組んでいきたいと考えている。

Sports Topics

広見中学校、日吉中学校の生徒が大奮闘！

第18回宇和島市・北宇和郡中学校総合体育大会は、5月30、31日、6月1、5日に開催され、宇和島市、鬼北町内の各会場で熱戦が繰り広げられました。（陸上競技の部、水泳の部は6月14日開催）

選手たちは、それぞれの競技で日々の練習の成果を発揮しようと奮闘しました。大会当日はあいにくの雨で屋外競技は中断を余儀なくされましたが、体を動かしたり仲間と声を掛け合ったりするなど、集中力を切らさないよう、チーム一丸となって試合に臨みました。

また、3年生にとっては最後の試合だったため、勝利の喜びや敗北の涙など、たくさんの感動場面がありました。最後まであきらめず戦い抜いた今大会は思い出に残る大会になったのではないのでしょうか。



県大会出場者は次のとおりです。

【団体】

▶女子バレーボール（広見）▶サッカー（広見：合同チーム）▶女子卓球（広見）▶男子ソフトテニス（広見）

【個人】

▶卓球男子ダブルス 井上岳哉・新野翔太（広見）▶卓球女子ダブルス 田中那奈・山下結衣（広見）

▶卓球女子シングルス 小川心音（広見）／鷹見明日香（広見）▶女子バトミントン 芝結衣（広見）

▶男子ソフトテニス 上山幹雄・伊勢本蓮（日吉）／川平悠季・山久保琉生（広見）

武田晴志郎・矢口元史（広見）／山下旺亮・伊勢本煌（日吉）

▶女子ソフトテニス 岡崎美都姫・宇都宮女依（広見）／宮本蒼空・大田黒あいら（日吉）

▶陸上男子3年100m 高田大生（広見）／稲垣海太（広見）▶陸上男子共通200m 高田大生（広見）

▶陸上男子共通走幅跳 大瀧怜（広見）

▶陸上男子共通4×100m 稲垣海太・高田大生・谷口郁真・大瀧怜・田口海璃・西村知城・京屋文太（広見）

お知らせ
info

ナンバープレート付いていますか？ 特定小型原動機付自転車の登録をお願いします

☎ 町民生活課 課税管理係 内線 2123

令和5年7月1日から軽自動車税（種別割）に新しく特定小型原動機付自転車が追加されました。特定小型原動機付自転車には『電動キックボード等』が該当します。道路交通法施行規則で定める車体の基準は次のとおりです。

【車体の大きさ】

長さ：190cm 以下 幅：60cm 以下

【車体の構造】

- ・原動機として、定格出力が0.60kw 以下の電動機を用いること
- ・20km/h を超える速度を出すことができないこと
- ・走行中に最高速度の設定を変更することができないこと
- ・AT機構がとられていること
- ・道路運送車両の保安基準第66条の17に規定する最高速度表示灯が備えられていること



上記の要件を全て満たしていないと、見た目がキックボードでも、特定小型原動機付自転車に該当しません。

【運転要件】

- ・16歳未満は運転禁止
- ・16歳以上であれば免許不要で運転可能
- ・自賠責保険への加入義務
- ・ヘルメット着用の努力義務

特定小型原動機付自転車の所有者は、市町村の条例等の定めるところにより、標識（ナンバープレート）を取得し、車体の見やすいところに取り付けなければなりません。車両の所有者で、まだ標識を取り付けていない方は、交付申請のために車両の情報がわかるものを持参の上、町民生活課窓口へお越しください。

お知らせ
info

令和5年度5月・6月の鬼北町工事入札結果

☎ 総務財政課 管財係 内線 2209

入札日	工事名	場所	工事概要	落札業者	主管課
				落札額（税抜）	
5/25	映像系光送出設備更新工事	近永他	機器設備更新工事 一式	四国通建・兵頭電気特定建設工事共同企業体	危機管理課
				145,000,000 円	
5/25	(5) 防安全 町道弓滝線弓滝橋歩道橋上部工工事（その1）	近永	角形鋼管床版桁製作工 一式 輸送工 一式	愛媛建設株式会社	建設課
				49,000,000 円	
6/1	鬼北町書庫整備工事	近永	鉄骨造平屋建て 延床面積 A=429.0㎡	愛媛・スギモト特定建設工事共同企業体	総務財政課
				59,650,000 円	
6/19	広見保健センター第2キュービクル高圧機器改修工事	近永	既存高圧機器改修 一式	有限会社尾上電工	保健介護課
				2,600,000 円	
6/19	伝送路修繕工事（出目新田）	出目	鳥獣害対策用光ケーブルへの張替修繕工事	有限会社セイケ電設	危機管理課
				1,980,000 円	

お知らせ
info

鬼北町職員を募集します

問 総務財政課 庶務係 内線 2201、2203、2204

鬼北町では、令和6年度採用にかかる職員を募集します。

◆受付期間

8月14日(月)までの土・日・祝日以外の
8時30分から17時15分まで。
※郵送の場合も8月14日(月)必着

◆募集職種および人員

試験区分		採用予定人員
上級	学芸員 (埋蔵文化財)	1名
初級	一般事務	若干名
	保育士	若干名
	保健師	若干名
	薬剤師	1名

※採用予定人員は見込数であり、多少増減する場合があります。

◆試験

【第1次試験】

期日 9月17日(日)
場所 鬼北町中央公民館、近永公民館



【第2次試験】

期日 10月21日(土) 場所 鬼北町近永公民館

◆提出書類

①受験願書 ②受験票
③学芸員受験者は、発掘調査歴及び業績目録
※願書等は、総務財政課、役場日吉支所、各公民館に
備え付けており、郵便でも請求できます。また、町
HPからもダウンロードできますが、受験願書は両
面印刷とし、受験票はA5サイズとしてください。
詳しくは鬼北町ホームページをご覧ください。

お知らせ
info

人手が必要な地域に 元気な集落づくり応援団の派遣を行っています！

問 企画振興課 地域活力創出係 内線 2212

愛媛県では、地域活動の担い手不足に困っている地域と、ボランティアで地域を応援したい企業や団体とのマッチングを行っています。皆様の地域活動にお役立てください。

○対象

65歳以上が概ね半数以上、または人口が概ね50人未満の地区や組
※応援内容にもよりますので、まずご相談ください。

○活動事例

お祭りやイベントの準備、地区運動会の参加・運営補助、清掃、草刈り等

○募集期間

随時受付

※**活動日の60日前まで**に派遣申請書を企画振興課までご提出ください。派遣申請書は、企画振興課窓口にお越しいただくか、もしくは(公財)えひめ地域活力創造センターHPをご覧ください。

<http://www.ecpr.or.jp/actions/#cheerful-village-cheering-party>



お知らせ
info

一人で悩んでいませんか？ ～秘密はお守りします！～

問 保健介護課 保健係 内線 3112～3116

学校・職場・家庭や人間関係など、一人で悩んでいませんか？

臨床心理士による相談を無料で行っています。まずはご相談ください。

【日時】令和5年8月28日(月) 【対象者】鬼北町在住の方 【場所】広見保健センター

※秘密はお守りします。安心してご利用ください。

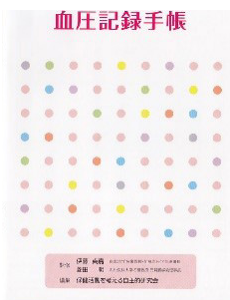
予約制のため、希望される方は8月21日(月)までにお問い合わせください。

どうにかできるはずやけん！ みんなで血圧 下げようや！

高血圧の死亡リスクは喫煙の次に高く、高血圧は循環器疾患（心血管疾患、脳卒中）だけで命を落とすことがあります。

鬼北町国民健康保険被保険者の中で約半数が「心臓病」で命を落とし、また「脳卒中」で介護保険を利用している状況です。

皆さん、高血圧を他人事と思わず、まずはご家庭で血圧を測定し、血圧記録手帳を活用しましょう。



◎合同会社ニワトコ

鬼北町国民健康保険被保険者の死亡状況

死 因	心臓病	44.6%
	がん	25.9%
	脳疾患	20.5%
	腎不全	5.4%
	糖尿病	1.8%
	その他	1.8%

※国保連合会KDBシステムから抽出した令和3年度データです。

さまざまな疾患リスク別の死亡者数

喫煙	128,900人
高血圧	103,900人
運動不足	52,200人
高血糖	34,100人
塩分の高摂取	34,000人
アルコール摂取	32,700人
ヘリコバクター・ピロリ菌感染	30,600人
高LDLコレステロール	23,900人
C型肝炎ウイルス感染	23,000人
多価不飽和脂肪酸の低摂取	21,200人
過体重・肥満	19,000人

何の疾患で介護保険を受けているのか

受給者区分		2号		1号		【合計】
年齢		40～60歳	65～74歳	75歳以上	計	
循環器疾患	脳卒中	72.7%	45.0%	49.0%	48.7%	49.0%
	虚血性心疾患	18.2%	21.7%	35.3%	34.3%	34.1%
	腎不全	18.2%	10.0%	17.4%	16.9%	16.9%

※国保連合会KDBシステム（令和3年度データから）
 ※有病状況（病院での診断名から重複して計上しています。）
 ※基礎疾患は、高血圧・糖尿病、脂質異常症



第35回全国健康福祉祭えひめ大会

ねんりんピック愛顔のえひめ2023

ねんりんを重ねた愛顔 伊予に咲く

令和5年10月28日(土)～31日(火)

鬼北町実行委員会より

問 ねんりんピック推進室 ねんりんピック推進係 内線 3600

ねんりんピック愛顔のえひめ2023 ペタンク交流大会の大会日程が決まりました。

- | | | |
|--------------------------------------|------------------------------|--------------------|
| (1) 監督会議 | 10月28日(土) 15:30～16:15 | 〔鬼北総合公園多目的室〕 |
| (2) 開始式 | 10月28日(土) 16:30～17:30 | 〔鬼北総合公園アリーナ〕 |
| (3) 交流試合 | | |
| (第1日) | 10月29日(日) 9:30～16:00 | 予選リーグ戦、決勝トーナメント1回戦 |
| (第2日) | 10月30日(月) 9:30～16:00 | 決勝トーナメント2回戦～決勝戦 |
| (4) 表彰式 | 10月30日(月) 16:00～16:30 | |
| (5) 交歓試合 | 10月29日(日) 予選リーグ戦の第2試合終了後に行う。 | |
| ※ 健康づくり教室…健康づくりの指導、健康チェック、健康相談などを行う。 | | |
| | 10月29日(日) 9:30～16:00 | |
| | 10月30日(月) 9:30～16:00 | |

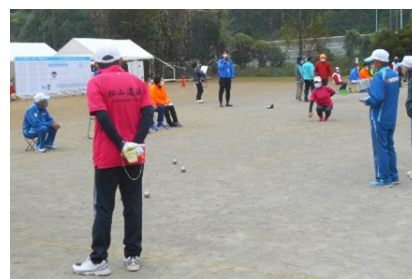
6月末まで県実行委員会で参加申込みの受付を行い、参加64チームが決まりました。来月からも関連する情報を発信していきますので、是非ご覧ください。



▼開始式(歓迎アトラクション)



▼ペタンク交流大会



みんな仲間！

◎若年性認知症支援コーディネーターセミナー



6月10日に広見体育センターで「若年性認知症支援コーディネーターセミナー」が開催されました。セミナーでは、関係機関3名による報告が行われた後、旭川荘南愛媛病院岡部院長から「地域包括ケアと知らないと損する技術」について講演いただきました。また、パネルディスカッションでは家族が認知症になった方をお招きしました。認知症を周囲に告白することで、生活がしやすく、生きやすい。といったリアルな話を聞くことができ、参加者は自分事として話を聞くことができたのではないのでしょうか。

近永のまちを盛り上げたい

◎チカナガ夢シンポ



6月8日に近永公民館で「チカナガ夢シンポ」が開催されました。4年前から進めている「近永賑わい創出プロジェクト」の進捗報告や、予土線の歴史について話を聞いた後、近永地区で事業をしている4名をお招きし、近永に対する思いや今後について発表をしていただきました。「気軽に立ち寄れる、気軽に入れる場所を提供したい」など、鬼北町内にとどまらず、鬼北町の良さを世界にまで届けたいと話していました。

難しいから楽しい！

◎鬼北スポーツダンスサークル ダンス発表会



6月25日に鬼北総合公園多目的室で4年ぶりに「鬼北スポーツダンスサークル ダンス発表会」が行われました。鬼北スポーツダンスサークルが主催して行われた発表会には町外チーム2チームが参加し、ワルツやタンゴなどの曲に合わせて華麗なダンスを披露しました。「難しいから楽しいのよ」と話す参加者は、ミキシングタイム（他のサークルメンバーと踊ること）で、男性のリードに呼吸を合わせ、初めてとは思えないほど美しく、社交ダンスを楽しんでいました。

“もしも”に備えて

◎防災・防火訓練



①6月16日にケアプラザあおぞら、社会福祉協議会（ひまわり）、北宇和病院、鬼北町合同で土砂災害防災訓練が行われ、防災意識の向上と、土砂災害に対する避難体制の連携確認を行いました。②6月23日に鬼北消防署指導の下、特別養護老人ホームひろみ奈良の里で防火訓練が行われ、当日の利用者72名の安全を確保し、適切に対応すべき防火管理体制を確認しました。デイサービス利用者は職員が作製した防災頭巾を被り、職員の誘導で安全に屋外へ避難していました。

くるまざ♡ミーティング

◎地域の青年と中学生の交流



6月27日に日吉中学校と広見中学校の3年生(計55名)と鬼北町青年団、地域おこし協力隊(計9名)が、広見中学校体育館に集まり「くるまざ♡ミーティング」を行いました。

2年目となったこの事業は、生徒たちが町内で活動・活躍する若者から生き方や考え方を聞き、将来の目標や卒業後の進路を考えるきっかけになることを目的としています。

生徒にとっては今後の参考になり、若者には地域活動の一環となり、双方にとって意義のある事業であり、これからも継続して開催する予定です。

「ふるさと再発見ツアー日吉編」

◎広見中学生が日吉の歴史を学ぶ(講座1)



6月22日に広見中学校1年生44名が日吉地区を訪れ、日吉地区の歴史や文化を学びました。

生徒たちは初めに、日吉住民センターで資料や地図を見ながら講師の話を熱心に聞いていました。続いて武左衛門一揆記念館や大野作太郎地質館を訪れ、当時の再現VTRや展示物を実際に見て、日吉地区のことを学び、より広く鬼北町の魅力を発見することができました。

この学習は年に2回行われる予定で、次回は11月です。日吉中学校生徒を講師として、歴史や文化、自然などを学ぶ予定です。

鬼北町オリジナル企画「Uターン学習」

◎中学生が小学校で学習支援



6月29日に広見中学校2年生と好藤・愛治・三島・泉・近永小学校合同で、初めての試みである「Uターン学習」が行われました。

中学生が出身小学校に戻って学習支援を行うこの企画は、中学生にとっては「社会貢献感の育成、コミュニケーションスキルの向上」などを、小学生にとっては「学習意欲の向上、中学生との交流による中学校への展望」などを目的とし、鬼北町教育委員会と広見中学校が企画しました。

当日、中学生は小学生と一緒に集団登校をしました。ある学校の学習支援では、図工の授業で1・2年生にハサミの使い方を教えながら授業補助を行ったり、国語の授業で3年生と俳句を学んだりして、楽しく活発に授業に取り組みました。

小学生からは「楽しかった。アドバイスをもらえた」、中学生からは「低学年への言葉選びが難しい。母校に帰れてうれしい」といった声が聞かれました。

午後の授業では、中学生が広見中学校の紹介や学校生活の話をしました。中学生から「広見中学校は生徒を見放さない学校です」という話があり、学校関係者に感動を与えました。

小学校長講話では、中学生に「生き生きと接してくれてとてもよかった。皆さんのおかげで6年生は来年が楽しみになったと思う。今後いろんなことがあると思うが、笑顔を忘れず、挨拶がしっかりできる人になってほしい」と講評し、Uターン学習を終了しました。

お知らせ

◆マイナンバーカード
休日臨時交付窓口開設

日時
8月27日(日)
9時～12時(午前中のみ)

場所
鬼北町役場本庁1階

※交付は通知書(はがき)に記載された書類が必要で
す。

※閉庁日のため、マイナン
バーカード関係のみの対応
となります。(マイナポイ
ントは平日のみ)

問い合わせ
町民生活課戸籍住民係
内線2171、2113

◆えひめ結婚支援センター
「愛結び」会場開設

愛結びとは、愛媛結婚支援
センターが提供する会員制お
見合いシステムのことで、す。
年齢や住んでいる地域などさ
まざまな条件をもとに相手を
検索することができ、すの
で、ぜひご利用ください。

日時
8月26日(土)※予約が必要
13時～16時(受付は15時まで)

場所
近永公民館 1階会議室

問い合わせ
◆企画振興課地域活力創出係
内線2218

◆えひめ結婚支援センター
南予事務所
☎0893-5716705

◆愛媛県立新居浜産業技術
専門学校オープンキャンパス

日時
8月5日(土)・8月19日(土)
8月25日(金)
9時～11時40分

問い合わせ
愛媛県立新居浜産業技術専
門学校
☎0897-4314123
FAX0897-4119880

◆8月は「電気使用安全
月間」です

テーパータップを使って、
いくつもの電気器具を同時に
使っていませんか。この状態
をタコ足配線といいます。
テーパータップのコードは、
流れる電流の量に制限があり
ます。

タコ足配線は、コードが過
熱して火災の原因になること
があり危険です。器具が増え
たらコンセントを増やしま
しょう。

日常の暮らしの中で、電気
を安全に、上手に使いましょ
う。

問い合わせ

一般財団法人
四国電気保安協会
宇和島事業所
☎0895-2713511

預けて安心！ 自筆証書遺言書保管制度
～あなたの大切な遺言書を法務局が守ります～

自分で書いた遺言書の保管場所にお困りの方や、書き換えなどのトラ
ブルが心配な方、相続人等に見つけてもらえるか不安がある方におすす
めです。保管申請時には遺言書の方式について、外形的なチェックを行い、
方式不備により無効となることを防ぎます。また、法務局で保管されて
いる遺言書については、家庭裁判所で検認が不要となるメリットもあり
ます。

【問い合わせ先】松山地方法務局宇和島支局 ☎0895-22-0770

相談

「子どもの人権相談」
強化週間

いじめ・体罰・不登校・親
からの虐待など、子どもの人
権問題に関するあらゆる相談
を受け付けます。

日時
8月23日(水)～29日(火)
8時30分～19時
※土日は10時～17時

問い合わせ
☎0120-00007110

松山地方法務局・愛媛県人
権擁護課
☎089-93210888

◆えひめ救急電話相談
「#7119」

病気やけがの際、病院へ行
くべきか、救急車を呼ぶべき
かなど迷った時は、救急電話
相談「#7119」へ電話し、
看護師等に相談して適切な医
療を受けましょう。

※年中無休 相談無料です

問い合わせ
愛媛県消防
防災安全課
☎089-91212316



◆相続に関する無料相談

8月3日は「司法書士の日」
です。相続登記をはじめとす
る相続に関する相談に、司法
書士が適切なアドバイスを
行います。

相談日

8月3日(木)～10日(木)
※県下各司法書士事務所
で随時承ります。

※事前予約が必要です。
問い合わせ
相続登記相談センター
☎0120-1317832

募集

◆愛媛県警察官
(高校卒程度)募集

受験資格
年齢17歳以上32歳未満の者
(大学卒業者・大学卒業見込
み者を除く)

受付期間
8月24日(木)～9月12日(火)

一次試験
10月14日(土)、10月15日(日)
※詳細は、愛媛県職員採用情
報HPをご確認ください。

問い合わせ
宇和島警察署警務課
☎0895-2220110
(内線212)

◆愛媛県警察事務職員
(初級)募集

受験資格
年齢17歳以上32歳未満の者
(大学卒業者・大学卒業見込
み者を除く)

受付期間
8月10日(木)～8月28日(月)

一次試験
9月24日(日)
※詳細は、愛媛県
職員採用情報HP
をご確認ください。
さい。



問い合わせ

宇和島警察署警務課
☎0895-221-0110
(内線212)

令和5年度危険物取扱者試験と準備講習会について

【試験】
試験日 10月22日(日)
会場

▼一般：松山大学
▼学生：県立吉田高等学校他
▼願書受付
▼書面申請
8月28日(月)～9月7日(木)
▼電子申請
8月25日(金)9時～
9月4日(月)17時まで

試験種類

甲・乙・丙種の全種類
受験料

甲種 6,600円
乙種 4,600円
丙種 3,700円

願書配布

消防本部・各消防署・各分署・各地方局防災対策室
問い合わせ・願書提出先

(一財)消防試験研究センター
愛媛県支部
☎089-932-8808

【準備講習会】※乙種第4類対象
日時
9月9日(土) 9時～17時

会場

宇和島地区広域事務組合
消防本部 4階大会議室

受講料

会員 5,000円
非会員 7,000円

テキスト代

▼法令・実務：各1,400円
▼問題集(乙種第4類)
：1,700円

受付期間

講習会当日まで
(土日および祝日を除く8時30分～17時15分)
※詳細については、事務局までお問い合わせください。

問い合わせ・申込先

宇和島地区広域事務組合
消防本部 予防課内
宇和島地区危険物安全協会
事務局
☎0895-221-7501

令和5年度就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定試験の実施

病気やその他やむを得ない事由により、中学校を卒業することができなかった者、及び日本国籍を有しない者で、令和6年3月31日までに満15歳以上になる者等に対して、中学校卒業程度認定試験が実施されます。

試験日

10月19日(木)

試験場

愛媛県中予地方局

願書提出先

文部科学省

願書受付期間

7月3日(月)～9月1日(金)

問い合わせ

愛媛県教育委員会事務局指
導部義務教育課
☎089-912-2941

戦没者遺児による慰霊友好親善事業参加者募集

日本遺族会では、戦没者遺児に対する慰藉の一環として、先の大戦で父等を亡くした戦没者遺児が、亡き父等の眠る地に赴き心ゆくまでの慰霊追悼を行うとともに、現地の方々との友好親善を深めることを目的として同事業を実施しています。詳細は日本遺族会事務局にお問い合わせください。

問い合わせ

日本遺族会事務局
☎03-3261-5521

愛媛県食品表示ウォッチャー募集

お住まいの地域で、食品販売店の食品表示のモニター活動をしていたたく「食品表示ウォッチャー」を募集中です。

募集期間

8月31日(木)まで

応募資格

- ・令和5年11月1日現在で満18歳以上の方
- ・愛媛県内在住の方
- ・県に対して食品の品質表示状況に関する報告及び不適切な食品表示の通報を行う事ができる方
- ・県が行う食品表示に関する研修を受けられる方ができる

問い合わせ

愛媛県農産園芸課
☎089-912-2565



催し

えひめまるごと移住フェス

海・山・島・街と多様なライフスタイルが実現できる愛媛県。そんな愛媛県を知ることができる大規模移住フェアを開催します。県内の20市町が全て参加し、個別相談や地域おこし協力隊の募集など愛媛県の情報をまるごとゲットできるチャンスです！

日時

8月27日(日)
10時～17時

場所

AP 大阪茶屋町
(大阪市北区茶屋町1-27 ABC-MART 梅田ビル)

問い合わせ

愛媛ふるさと暮らし
応援センター
☎089-922-4110

U-インターン合同就職面接会

日時

8月9日(水)・10日(木)
13時30分～17時

場所

松山市総合コミュニケーションセンター 企画展ホール1F

問い合わせ

若年者地域連携事業事務局
(委託事業)
株式会社 東京リーガルマインド 松山支社
☎070-11746-5333



「腎臓病の予防と早期発見 !!」

腎臓は尿を出すだけではなく、血液をろ過する働きがあり、高血圧・高血糖・脂質異常症・高尿酸血症など、血管や心臓にダメージを与える食習慣と関連が深く、一度低下してしまうと修復が困難な臓器と言われています。

CKD(慢性腎臓病)は、予防と早期発見がカギとなります。今回、月に一度北宇和病院で診察をして頂いている、松山赤十字病院 腎臓内科部長 上村太朗先生の講演を行います。みなさん是非ご参加下さい。

【日時】8月25日(金) 18時～19時30分(受付17時30分～)

【場所】近永公民館 2階講堂 【問い合わせ】北宇和病院総務課 ☎0895-45-3400

「人権・行政・心配ごと相談」

日時 8月18日(金) 10時～15時

場所 ◆鬼北町総合福祉センターひまわり
◆日吉中央集会所

問 人権…町民生活課戸籍住民係 内線2111
行政…総務財政課行政係 内線7802
心配…社会福祉協議会 ☎45-3709

5・7・5に乗せて

愛媛若葉ひろみ句会

高原に孤高の愁ひ夏薊

伊藤 京

白蓮の並びて平和の祈るやう

浜田 千鶴

有つて無き老いの予定や枇杷うるる

高田 弘子

朝草を刈りてすぐさま大の字に

高橋 妙

声あらば聞きたいものよ螢の夜

福本 恵子

出し抜けにすんと梅雨に入りけり

井谷 けい

螢呼ぶ今も昔もあの歌で

藤田 光子

母の日や偲びて悔やむこと多し

松岡 寛孝

愛治俳句会

花まつり天上天下雨が降る

久保田 由布

青空に業雲のごと花棟

氏本 佐喜恵

梅雨の峡空家一軒また増えて

金子 和子

七夕竹園児の願天辺に

木原 幸江

大げさに杓天に向け水を打つ

末廣 典子

角を出す豆粒ほどの蝸牛

善家 初穂

牛が聞く朝一番の時鳥

土居原 佳子

十葉の花の際立つ木下閣

古谷 久代

老の手が丁寧に煎る古茶新茶

渡邊 三代子

消費生活だより

電気・ガスの契約切り替えの不適切な勧誘に注意!


知らない業者が訪問して今よりも電気やガス料金が安くなるなどと、契約を勧められるケースがあります。訪問してきた相手をよく確かめ、その場で契約をするのではなく、よく検討してから契約しましょう。不安だと感じたらはっきりと断りましょう。






もし、契約をしてからでも、契約書面受領日から8日以内であればクーリング・オフ制度が適用され、契約を解除することができます。

困った時は、鬼北町消費生活相談窓口(45-1111)にご相談ください。

電気 ガス 「料金が安くなる」 要注意!!
などの不適切な勧誘に


注意すべき勧誘例



-  値下げの対象かどうか確認するので、検針票の情報を教えてください。
-  検針票の情報で契約の切り替えが可能
安易に情報を教えてはいけません!!
-  ●●電力/●●ガスからの供給はそのまま
料金が下げられるようになりました。
-  契約中の事業者の訪問を装い、
実際には別会社の新規契約の勧誘かも?
- 毎月の電気・ガス料金が安くなります。
-  実際には安くならないかも?

トラブルを避ける!! 要注意ポイント

- 1 訪問してきた相手をよく確認!!**
名刺を受け取るなどし、誰が、何のために訪問したのか必ず確認しましょう。
- 2 契約中の料金プランと必ず比較!!**
その場で契約するのではなく、よく確認してから契約しましょう。
- 3 不要だと感じたらはっきり断る!!**
契約してしまっても、書面受領日から8日以内であればクーリング・オフができます。



きほくのまち人探訪

『生涯剣道』 剣道の楽しさを伝えたい



ふるや たつお
古谷 龍夫さん

6月5日に日本武道館で、第45回全日本高齢者武道大会が行われ愛媛県代表として団体戦に出場し、全国優勝した古谷龍夫さん。高校の頃から剣道を始め、現在では七段の有段者で鬼北剣道会・南予六十路会に所属しています。

全国大会には、愛媛県の60歳以上の代表者とチームを組み副将として出場しました。「日本武道館で剣道がしたい。まずは楽しみたい。」という思いで試合に臨み、平成30年以降、4年ぶりに愛媛県が優勝に輝きました。古谷さんは「チームの一員として出場できてよかった。楽しかった。」と話します。

また、中学体育で武道が必須科目になり、愛媛県剣道連盟で募集していた授業協力者に登録し、平成26年に広見

中学校で授業を行ったそうです。剣道人口が減ってきている今、礼儀作法や勝利への執念以前に、剣道を楽しむことを第一に教えて、時代に合った方法を模索しながら指導していきたいと意気込みます。

今後の目標は、「案内があればぜひ、大会に挑戦し続けたい。やれる間は続けたい。」と話す古谷さんの、今後の剣道人生を応援し、機会があればまたご指導いただきたいと思います。



ALTの鬼の里Diary ~Brian編~

「A much needed break」



8月に私はアメリカに一度戻り、友人や家族に会いに行くことにしました。

友人や家族たちは、私が16か月ぶりにアメリカに戻ってくることをとても喜んでいました。友人たちと日本での生活についての話や、アメリカでの彼らの生活についての話ができるのをとても楽しみにしています。

私は鬼北町での生活が好きですが、アメリカでの生活を思い出すととても懐かしく思います。Uber Eatsも今では日本の大都市でよく見かけますが、ア

メリカのUber Eatsも懐かしいです。

また、アメリカの朝食や様々な国の料理、特に本格的なギリシャ料理、中国料理、タイ料理が恋しいです。お気に入りのギリシャ料理のレシピを作るのが待ちきれません。

アメリカでは家族や友人たちとリラックスした時間を過ごしたいと思います。そしてまた鬼北に戻って日本の言語や文化についてもっと学びたいと思いますので、皆さん、よろしくお願ひします。

地域おこし協力隊活動日記

愛治地区に引っ越しました！

地域おこし協力隊2年目

おおむら さとし
大村 怜



早くも協力隊に着任して1年が経過しました。日々新しいことにチャレンジすると、時間はあっという間に過ぎるものですね。

さて、私は今年の7月より、日吉地区から愛治地区へ引っ越すことになりました。

同じ町内とはいえ、住むところが変わることで新しく感じることもあるのだろうと考えております。日吉地区とは日吉一希を起す会等の繋がりがありますので、今後とも楽しくお付き合いさせていただければ幸いです！

愛治地区の皆さん。これから大村をどうぞよろしくお願いいたします！

▼愛治の新居から見える風景



健康ほくほく通信

☎ 保健介護課 保健係 内線 3112～3116

No.40 今、ここで鬼北町の血圧を食い止めよう。 “みんなで血圧下げてみちやるか～鬼滅塩プロジェクト～”始動

愛媛県は、全国の中で5本の指に入るほど血圧の高い人が多い県。その中でも、鬼北町の高血圧者割合の多さは県内ワースト1位。

「年をとれば血圧は高くなるから仕方ない」ということをよく耳にします。これは間違いではありません。年を取るにしたがって動脈硬化が進み、一般的には血圧が上昇します。

しかし、血圧が高い状態を放ってしまうと、脳卒中や心筋梗塞などの血管の病気を引き起こす危険が高まります。脳血管疾患や心疾患は、介護にかかるきっかけとなったり、膨大な医療費がかかったりする上、かけがえのない命にかかわります。

鬼北町に暮らす方々がいつまでも心身健やかに過ごすことのできるよう、保健係では、最重要健康課題である血圧の解決を目指して高血圧対策の取組みを強化していきます。

高血圧にまつわる川柳・標語を大募集！

作品の一部はのぼり旗など、鬼北町の健康づくりの素材として活用します。

募集期間：令和5年7月1日～令和5年8月31日

応募資格：鬼北町在住の方

川柳・標語に対するコメント及び氏名(ペンネーム可)を各種媒体に掲載することに御同意いただける方とします。

応募方法：応募用紙及び応募ポストを下記の場所へ設置しています。

【鬼北町役場、広見保健センター、日吉支所、各地区公民館、各地区診療所、北宇和病院、道の駅、商工会、社会福祉協議会、アエレルきほく、warmth、フジ広見店など】

表彰及び賞品：最優秀賞(1点)1万円程度の賞品

優秀賞(3点)5千円程度の賞品

入賞(5点)2千円程度の賞品

結果発表：令和5年10月中旬頃予定

詳しくは鬼北町ホームページをご覧ください。



鬼北町HP

北宇和病院
だより



電話再診とオンライン診療について

当院では新型コロナウイルス流行時の院内感染対策として状態が安定している患者様に対して電話での再診と処方箋発行を行ってまいりました。しかしながら新型コロナウイルス感染症の感染症法上の五類相当への見直しに伴い、診療報酬上の経過措置が終了することとなりました。つきましては8月1日より電話再診を終了させていただきますのでご理解のほど宜しくお願いいたします。

インターネットやテレビ電話等の情報機器端末を利用して対面診療を行うオンライン診療は2018年に改正医療法で認可されて以降、コロナ禍での有用性が認識されて普及が進み、今後も活用の拡大が期待されています。設備投資などのハードルが高く、早期の実現は困難な状況ではありますが、当院でも患者様サービス向上のため導入の検討を行ってまいります。

編集後記

▼「Uターン学習」で小学校に取材に行った際、私が小学生だった頃の先生にお会いしました。10年以上も前ですが、「先生が来年度担任になるん？」と国旗掲揚台で聞いた私に「どうだろね」と応えた先生は異動になり、寂しかったのを覚えています。直接担任になっていただいた訳ではありませんが、この会話を鮮明に覚えてくださっていて、すごく嬉しかったです。これからも、笑顔で頑張ろうと思えます。(咲)

今月の1枚



役場裏の土手に咲くこのひまわりは、役場職員が植えた、花を咲かせました。毎朝、ボランティアで美化活動を行っており、河川敷に向う道には、たくさんのお花や、落ち葉で作った心のマークなど、四季を感じられる河川敷になっています。

10月が近づくと、石壁には苔を削って『でちこんか』の文字が描かれます。ぜひ、近くを通った際には、ご覧ください。

Happy Birthday

げんき
8月生まれの元鬼っず ー元気な鬼北っ子ー



清家
せいけ

秀くん
しゅう

3歳
近永

いつも元気で踊るのが大好きな秀くん
◎これからもいっぱい遊んで食べて大きくなってね!大好きだよ♡



清家
せいけ

蒼生くん
あおい

3歳
永野市

もう3歳!!
寂しい気もするけど、いつまでもみんなのアイドル蒼生くんていてね♡



渡邊
わたなべ

心陽ちゃん
こはる

3歳
清延

やんちゃでイタズラ好きな心陽! 3歳おめでとう◎これからもたくさんご飯食べてね! 笑顔が可愛い心陽が大好きだよ♡



竹崎
たけざき

澄音ちゃん
すずね

1歳
奈良

すっちゃん! 1歳のお誕生日おめでとう♡いつもニコニコ笑顔が可愛いすっちゃん◎元気に大きく育ってね♡

Happy Birthday

げんき
7月生まれの元鬼っず



渡辺
わたなべ

彩ちゃん
あや

1歳
奈良

ニコニコ笑顔のあや♡
これからも元気にたくさん遊ぼうね◎

お詫び

広報きほく7月号の元鬼っずに掲載漏れがありました。お詫びいたします。

ほくほく鬼北 家族の絆

人から人につなぐ絆リレー

No.146



今を楽しく！2人の笑顔に囲まれて

渡邊

大樹さん

颯月くん

佳奈さん

葵生ちゃん

永野市にお住いの渡邊さんご家族。ご夫婦は中学校の同級生ですが、お互いあまり会話をした覚えがないようで、高校卒業後に共通の友人を介して仲良くなったそうです。現在、2歳の颯月くんと1歳の葵生ちゃんと笑顔の絶えない日々を過ごしています。

颯月くんは大樹さんに似てマイペース。取材中もテレビを見たり、ボールで遊んだりとのびのびと自由に楽しんでいたのが印象的です。テレビで救急車を見たら「働け〜☺️」と言うようで、家族のムードメーカー的存在です。

葵生ちゃんは活発に動き回り元気いっぱい。最近歩けるようになったため、颯月くんとお揃いの靴で外に出かけることが多いそうです。でも知らない人が来ると固まってしまう人見知りの一面もあります。

そんな2人には「好きなことを自由に、のびのびと成長してほしい」と願う渡邊さん夫婦。子どもが中心となっている現在は、あまり旅行や趣味の時間を確保することができませんが、子どもたちがもう少し大きくなったら全国各地、旅行に行きたいそうです。海外に少し興味のある大樹さんですが、全国を制覇するまではお預けのようです。(笑)

取材中も笑顔が絶えず、今を楽しんでいる印象を持ちました。また、夫婦というよりは親友の延長線のような仲の良さ、とても魅力を感じた取材でした。

食生活改善推進協議会 健康づくり応援レシピ

—食生活改善推進協議会 好藤支部—

減塩応援レシピ

『蒸しなすとみょうがのサラダ』



料理に香味野菜を使うと味が引き締まり、減塩につながります。今回は夏野菜の代表、なすとトマトに香味野菜のみょうがとしょうがを添えたさわやかな一品をご紹介します！

1人当たりの栄養量

エネルギー: 104kcal タンパク質: 2.0g
脂質: 8.4g 炭水化物: 7.1g 食塩相当量: 0.7g

【材料】2人分

なす 120g (長1本)、みょうが 1個、トマト中 1/2個、しょうが少々
(A) サラダ油大さじ1、酢大さじ1、塩小さじ1/2、だし大さじ1、すりごま大さじ1)

【作り方】

- ① なすはへたをとり、蒸気の上った蒸し器に入れて8～10分蒸す(柔らかくなるまでレンジで加熱してもよい)。箸ではさんでやわらかくになったら取り出して冷まし、細くさく。
- ② みょうがは斜め薄切りにする。
- ③ トマトは半分にとって薄切りにする。
- ④ 器に①～③を盛り合わせ、④を合わせたドレッシングをかけ、おろししょうがをのせる。

鬼北町食生活改善推進協議会 会員募集中!

☎ 保健介護課 保健係 内線 3114